

### 3 観光庁の移転を見据えた「観光立国・日本 京都拠点」の戦略的活用

(観光庁・外務省)

観光立国推進基本法に基づき政府が策定した「観光立国推進基本計画」において、訪日外国人旅行者数を平成28年までに1,800万人にするという目標が掲げられていますが、わが国の外国人旅行者については、東日本大震災等の影響から完全に回復したとはいえ、楽観視できない状況にあります。

訪日外国人旅行者の誘致を促進し、「観光立国・日本」を実現するためには、国際競争力の高い魅力ある観光地を活用することが重要です。

京都は、伝統、文化、自然、和の精神など日本文化の源を確認することができる我が国を代表する歴史都市であり、京都の魅力をさらに高め、海外に発信することが、訪日外国人旅行者数を高める大きな原動力となります。

こうした観点に加え、首都圏の被災に備えて行政機能の東京一極集中の是正を図るためにも、観光庁の京都への移転も見据え、観光庁との共同プロジェクト「観光立国・日本 京都拠点」を積極的に活用し、ラグジュアリー層やMICEをはじめとする訪日外国人誘致等に戦略的に取り組むことが、「観光立国・日本」の国益にかなうものと考え、次のとおり提案します。

#### 提案事項

- 1 観光庁の移転を見据えた「観光立国・日本 京都拠点」の積極的な活用
  - (1) I L T M A s i a の共同誘致など、ラグジュアリー層の積極的誘致
  - (2) M I C E の共同誘致 京都市・京都府共同提案
  - (3) 次世代の観光産業を担う人材育成
- 2 海外日本大使館、在日海外大使館等との連携
  - (1) 京都セミナーの開催や海外における京都の伝統産業、食文化の紹介
  - (2) 各国要人やラグジュアリー層向けの誘致の展開
- 3 中国をはじめ新興国からの訪日観光促進のための観光査証の免除を含めた発給手続きの簡素化

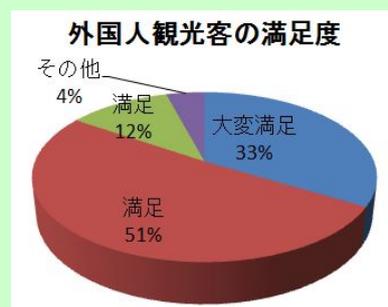
所管の省庁課：観光庁（総務課） 外務省（領事局外国人課）

京都市の担当課：産業観光局 観光MICE推進室 担当部長 柿沼宏明 TEL 075-222-4130

産業観光局 観光MICE推進室 観光おもてなし課長 砂川敬 TEL 075-222-4130

## 現状・京都市の取組

- 入洛観光客 5,000万人の達成（平成20年）
- 京都への高い評価（京都観光総合調査）  
京都を訪れた外国人観光客の8割超が、
  - 京都観光の満足度を7段階中の6以上と回答
  - 「親しい知人に京都を勧めたいか」との問いに対し7段階中の6以上と回答
- 世界の中での「京都」の健闘
  - 「コンデナストラベラー」(旅行情報誌)  
→「人気投票アジア都市部門(2011)」(アジア)で 1位
  - 「ワンダーラスト」(旅行情報誌)  
→「満足度の高い観光地(2011)」(世界)で 3位
- 京都駅の総合観光案内所（平成22年3月16日オープン）において、JNTOとの連携により全国の案内機能が充実
- 「未来・京都観光振興計画 2010<sup>+</sup>」において、「ラグジュアリー層に対する誘致の強化」を重点事業に位置付け
- MICE振興の重要性に鑑み、他の自治体に先駆けて「京都市MICE戦略」を策定（平成22年）
- 観光庁と共同プロジェクト「観光立国・日本 京都拠点」を開始（平成23年1月13日覚書に調印）
- MICE推進のため、京都文化交流コンベンションビューローにインバウンド課を設置、民間からの人材登用など体制を強化（平成24年）
- 京都観光を担う人材育成を図るための調査研究と試行的なセミナーを実施（平成24年）
- ILTM Asia 京都プレトリップの実施（平成23年、平成24年）



### 国際会議の都市別開催件数

順位	2010		2009	
	都市名	件数	都市名	件数
1	東京	190	東京	134
2	横浜	82	横浜	54
3	京都	61	神戸	40
4	神戸	45	京都	39
5	大阪	32	つくば	31
6	札幌	31	福岡	30
7	名古屋	29	札幌	28



### 中国人観光客の観光査証発給手続緩和の経過

H12.9	北京、上海、広東省住民、団体旅行に限り観光ビザ取得可能に
H16.9	天津、遼寧省、山東省、江蘇省、浙江省に対象拡大
H17.7	中国の全国に対象拡大
H20.3	家族観光に対象拡大
H21.7	個人観光に対象拡大(富裕層に限る)
H22.7	個人観光の更なる緩和(対象を中間層まで拡大)
H23.9	個人観光の更なる緩和(職業制限の廃止、滞在期間の延長)